

沖縄を戦争の拠点にしないで！

沖縄は80年前、「本土決戦」引き延ばしの「捨て石」にされました。米軍との戦争に総動員され、県民の4人に1人の命が奪われました。その後、日本政府は再び沖縄を切り捨て、米軍占領下で人権が蹂躪（じゅうりん）され続けました。沖縄県民は自らのたたかいで1972年5月15日に占領を打破しましたが、その後も日米安保条約で広大な米軍基地がおかれ、さらに自衛隊基地も大増強され、現在も戦争の危険にさらされています。



「台湾有事」で戦争を!?

沖縄・南西諸島が戦場化する危険が

高市首相は、「台湾有事」が発生した場合、米軍の戦争に自衛隊が参戦する「存立危機事態」に該当すると答弁しました。高市政権はアメリカ言いなりに、沖縄・南西諸島を対中国封じ込めの最前線に位置付け、軍事要塞化を進めています。こんなことを進めれば、緊張を高め戦争の危険を強めるばかりです。「沖縄を再び戦場にするな」の声をあげましょう。

工事進行度16%で7割の予算を支出

無謀な辺野古新基地建設は中止を

沖縄県民の反対の声を無視して、沖縄県名護市辺野古・大浦湾の美しい海を埋め立て、米軍新基地建設を強行する動きも許せません。軟弱地盤が広がり、完成の見通しありません。環境を破壊するだけのこの工事の進捗状況は16%ですが、かかった費用はすでに政府見積もり費用9300億円の7割。この無駄で無謀な工事に、私たちの税金が何兆円も注がれる計画です。直ちに中止すべきです。



**辺野古新基地建設工事の中止と
普天間基地撤去を求める署名にあなたも！**



日本平和委員会

2025年11月発行

一人ひとりの平和の願いをもとに行動する平和NGOです
「平和新聞」(旬間)、「平和運動」(月間)発行中

<http://j-peace.org/> (X) (F)

